

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193100167		
法人名	社会福祉法人 錦江舎		
事業所名	グループホーム 夢眠かに		
所在地	岐阜県可児市今渡1619-137		
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果市町村受理日	令和4年2月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&g_yosvoOd=2193100167-00&ServiceOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年1月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今現在は、コロナウイルスにより人混みの中の外出はいけないため、施設職員で考え、おやつレク、夏祭り、運動会、花見、畑にて野菜作り等できる範囲で企画を行い、利用者の方が生き生きと生活していただけるように支援しています。また、日常生活リズムを大切にしながら四季を感じてもらえる工夫をしています。毎月ご家族様には、利用者様の元気な姿の写真と手紙を送らせてもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は利用者の生活歴から好きなこと得意なことを把握し、干支のハンコ作りや毎食のメニュー書き、盛り付けなど行ってもらっている。契約時に重度化や終末期の方針を家族に説明している。状態の変化に伴い早い時期から本人・家族に相談して意向を確認している。重度化した場合は、同一敷地内の事業所での受け入れも含めて家族の意向に添えるように取り組んでいる。計画作成担当者は、記録や職員に確認しながら定期的にモニタリングを行っている。職員は日頃から計画に対して気が付いたことを作成担当者に伝えている。管理者は、職員の意見やアイデアを傾聴し、職員間で話し合いながら一つひとつ取り組んでいる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果 1階(ひまわり)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝申し送り時、会議時に理念、唱和、会議時唱和しています。又職員の見える所に理念が貼ってある。	管理者は、月1回の会議や朝の申し送り時に利用者に寄り添うこと、人生の先輩として敬うことを伝えている。職員は、利用者に目線を合わせてスキンシップを図り、利用者の思いを傾聴し実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ予防対策としてあまり交流できていない。	利用者と一緒に散歩に出掛けて地域の方と挨拶を交わしている。地域の方より、果物や野菜の差し入れがある。コロナ禍前は、保育園児やアニマルセラピーなどボランティアを受け入れて利用者との交流をしていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談の受け入れや、近隣の方、地域の方に理解を深めていただけるように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ予防対策として、日々の生活状況取り組み等を書類にて報告し、意見や助言をいただきサービスの向上に努めている。	コロナ禍のため、書面で定期的に会議を開催している。事業所の現状や取り組みを報告し意見を聞いている。玄関先に議事録を置いているが、会議に出席しない家族等に広く公表することが出来ていない。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	可児市の担当者とは、日ごろから連絡を取り、相談、助言を受け関係を築いている。	書類や介護保険法の改正など分からないことは市の担当者に聞いている。市主催の研修会に出席して情報を交換している。定期的に介護相談員を受け入れて話し合っている。認定調査の際に情報交換することもある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い、研修した内容を職員間で注意しあっている。また何気ない言葉で利用者様ができずつくこともあり、気持ちに寄り添う必要がある。	研修会は同一敷地内の事業所と合同で行っている。委員会は事業所独自で定期的に行っている。毎月の会議で身体拘束や虐待の具体的な行為を話し合っ、正しく理解できるように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設全体で勉強会を行い、毎月1人1枚ヒヤリハットを記入し、出勤時はヒヤリハットに目を通し情報を共有し、防止に努めています。		

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設全体での勉強会と回覧研修でも勉強を行い学ぶ機会をもっております。ご家族に聞かれてすぐ話せるように資料を用意しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族様にご不明な点はないか確認して納得していただき契約をしている。また、利用中に起こりうるリスクに関してなど説明し、ご家族の理解、同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話やメールで状況報告を行い意向を確認し介護計画や施設の体制に取り入れております。利用者様の要望に応じられるようにご家族の方にも協力を得てサービスの向上に反映させております。	家族が来訪した時や電話があった時に利用者の状態を伝えて意見等を聞いている。毎月、家族に利用者の写真と手紙を送っている。家族からの要望で、メールでやり取りをする方もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を行い、職員からの意見や提案を聞き、業務に反映している。また会議以外でも話しをして意見が言いやすい環境を作っている。	管理者は、日頃から職員の様子を見て、気になった時には声を掛け、できる限り1対1で意見を聞くように心掛けている。毎月の会議で話し合い、外出やレクリエーション、季節の飾り付けなどに、職員の意見を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいようにアットホームな雰囲気笑顔で絶やさな職場作りに努めています。介護福祉士等の資格、また日々の努力や実績に応じて正職員への起用に配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1人1人の状況に応じて研修への参加を促したり、資格取得の為にサポートをしている。勉強会を行い参加できなかった職員にも回覧している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ予防対策として交流はできていません。		

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に会話の中でさり気なく要望を伺い、利用者様の要望をご家族様にお伝えし、ご理解、ご協力を頂き利用者様の気持ちを大切にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期アセスメントを行いご家族様の意向を伺い利用者様と話し合い要望等を取り入れるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当にグループホームでの支援が必要か資料と面談に伺い確認し、職員と話し合いながら対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬意を持ち利用者様の本意を大切にし残存能力に配慮した対応を心掛けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者や家族が不安なく生活できるようスタッフが取りついで対応しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ予防対策として外出を控え、会話を楽しんでいただき積極的に取り組んでおります。	コロナ禍前は、利用者から馴染みの寺や地域の郷土館に行きたいと言われ一緒に出掛けていた。携帯電話を持ち込んでいる方は職員が支援して家族と連絡している。今年は、職員が手伝って利用者が手書きした年賀状を家族に出した。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方の個性や性格をスタッフが理解し、座る位置や対応に配慮し皆で楽しんで共同生活が送れるように支援しています。		

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には看護、介護サマリー等お渡しし、ホームでの生活が継続できるように働きかけております。退所されてから様子を伺いに行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いなど傾聴し把握し職員に共有しどのように対応していくか意見を出し合うようにしている。	風呂や居室など1対1となった時に利用者の思いを聞いている。利用者どうしの会話から把握することもある。困難な場合は、利用者とのスキンシップを図りながら声を掛けて表情やしぐさから把握し職員間で話し合って共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	シートを使用しスタッフが把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や申し送りなどで把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で出来ること、出来ていないことやそれぞれの利用者様の現状を知り話し合っている。	作成担当者は、記録や職員に確認しながら定期的にモニタリングを行っている。職員は日頃から計画に対して気が付いたことを作成担当者に伝えている。家族や医師の意見等を取り入れた計画を作成し、会議で話し合って職員のアイデアや気づきを反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入しているが利用者様の様子が読み取れる程細かくはされていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のその時の体調や心の状態をみながら柔軟に対応できるように心がけている。		

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所時に地域資源を確認しておりますが、なかなか多様な地域資源を活用させることが難しいです。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に希望のかかりつけ医を確認し緊急時は希望の病院に搬送して頂けるように看護に伝え情報共有しております。医療行為が必要な場合は看護と相談し対応させて頂いております。	かかりつけ医の受診は家族が同行している。車椅子を利用されている方や緊急時は、職員が病院まで送迎し家族と待ち合わせている。家族が同行する場合は、協力医の情報提供書や状態を書いた書面を渡し、受診の結果を確認している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝バイタル測定の結果を看護に伝え、必要時は看護職に再測定して頂いております。日々の気づきを大切に、変化が見られた時は直ぐに看護に報告・相談して主治医に連絡する体制を築いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に看護・介護サマリーを医療機関に渡し情報共有し、入院中もご家族様に容態を伺ったり、早期退院できるように医療関係者・ご家族様と連携をとって支援しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院時にご家族様の意向を確認しております。状況に応じ、その都度ご家族様の意向を確認し看護職に情報共有しております。医療行為が必要な場合看護職と相談し対応しております。	契約時に重度化した場合や終末期における事業所の方針を説明している。状態の変化に伴い早い時期から本人・家族に相談して意向を確認している。重度化した場合は、同一敷地内の事業所での受け入れも含めて家族と相談しながら意向に添えるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルを作成しスタッフで情報共有しております。急変時の対応方法の研修を受けて習得しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内の非常口を全てスタッフが周知し、年に2回避難誘導を行っております。備蓄品を用意しローリングストック法を活用しています。	夜間想定を含めて年2回訓練を行っている。事業所がある地域で想定される災害について市の担当者に確認している。食糧や毛布、ポータブル自家発電機など備蓄しているが、訓練等への地域の協力が得られていない。	運営推進会議で災害について話し合ったり、地域に情報を発信したりして地域から協力が得られるような取り組みを期待する。

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応しております。丁寧な言葉かけを心掛けています。	職員は、排泄を失敗した時には、羞恥心に配慮して利用者の前で言わないように心掛けています。トイレの戸を閉めたり、脱衣場に暖簾を掛けたりしてプライバシーを確保できるように取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	尊重し自己決定できるように声掛けしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務が優先しないよう、利用者の方の希望に添う様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に整髪、整容の声掛け見守り介助をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずを配食しているが時々手作りを取り入れている。盛り付け、食器拭きは一緒にやって頂けるよう心掛けています。	事業所の畑で利用者と一緒に収穫した作物で、胡瓜の浅漬けや芋ご飯など作っている。利用者は、味噌汁の味付けや料理の盛り付け、台拭きなど出来ることを行っている。職員は音楽を流し、会話しながら楽しく食事が出来るように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすくするために1人1人形態を考えた支援はできています。水分量の少ない方への支援を職員間で話し合いをし努力している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後毎回声掛けをして頂いております。本人の力に応じたケアをしています。		

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様、1人1人に合わせた支援を行っております。トイレにて排泄できるように声掛け誘導を行っております。	24時間シートを作成して排泄パターンを把握し、トイレに誘導している。利用者の状態を把握し、職員間で話し合っ布パンツに改善した方もいる。利用者に声を掛けて意思を確認してからトイレに誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便リズムを把握し自然排便を促せるよう工夫しトイレ誘導を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員の都合上、曜日や時間帯の希望には対応できていない。入浴中は自分のペースでゆっくり入っていただけるよう介助している。	湯温や入浴時間など利用者の好みに合わせている。嫌がられる方は、無理強いせず日時を変更している。柚湯やしょうぶ湯など季節が感じられるように工夫している。利用者と一緒に歌ったり、昔の話を聞いたりしながらゆっくりと入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調節やパジャマへの更衣など就寝環境を整えている。起床時間は個々に合わせて対応。日中の休憩もその時の状況によって対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み込まれるまでしっかり見守りしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活リズムに合わせて休んで頂いたり、体操、好きなことをやって頂いたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	密をさけ紅葉狩りに車でいきました。極力天気の良い日にはスタッフと共に散歩にしています。	コロナ禍前は利用者と一緒に桜や紅葉など見物に出掛けたり、近くの店に買い物に出掛けたりしていた。利用者からパターゴルフに行きたいと言われ職員と一緒に出掛けている。自宅に帰りたいと言われる場合は自宅近くまでドライブに出掛けている。	

グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の方が理解してみえるから安心して下さい。お支払いは口座落としで心配ないとお話し納得して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯預かり電話の時本人様へお渡ししています。枕元には手紙おいてみえます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れる為、廊下に利用者様の作品コーナーを設け、俳句、塗り絵、折り紙等、スタッフと取り組んでいます。	リビングに利用者と一緒に作った季節の作品を飾っている。玄関先やリビングには季節の花や利用者が書いた俳句を飾っている。温湿度や換気に気を付けたり、気の合う利用者同士が座れるように席を配慮したりして、居心地よく過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の空間は、確保されておりいつでもやすらぎのあるスペースである。またご近所のような付き合いもできるほどよい距離感である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある小物や写真、机等触れながら安心して暮らしていただく。プライバシーは守られている。	テレビやソファ、碁盤など使い慣れた物を持ち込んでいる。配偶者の遺影を置き毎日手を合わせている方や、観葉植物や誕生日に家族からプレゼントされた花を大切に育てている方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能の状態に見合った活動や自立を促し、安全に過ごせるよう環境の整備はできている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193100167		
法人名	社会福祉法人 錦江舎		
事業所名	グループホーム 夢眠かに		
所在地	岐阜県可児市今渡1619-137		
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果市町村受理日	令和4年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosvoOd=2193100167-00&SerVi.ceOd=320&Type=search
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年1月13日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果 2階(蓮華)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	(1) ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝申し送り時、会議時に理念、唱和、会議時唱和しています。又職員の見える所に理念が貼ってある。		
2	(2) ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ予防対策としてあまり交流できていない。		
3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談の受け入れや、近隣の方、地域の方に理解を深めていただけるように努めている。		
4	(3) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ予防対策として、日々の生活状況取り組み等を書類にて報告し、意見や助言をいただきサービスの向上に努めている。		
5	(4) ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	可児市の担当者とは、日ごろから連絡を取り、相談、助言を受け関係を築いている。		
6	(5) ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い、研修した内容を職員間で注意しあっている。また何気ない言葉で利用者様ができずつくこともあり、気持ちに寄り添う必要がある。		
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設全体で勉強会を行い、毎月1人1枚ヒヤリハットを記入し、出勤時はヒヤリハットに目を通し情報を共有し、防止に努めています。		

グループホーム夢眠かに

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設全体での勉強会と回覧研修でも勉強を行い学ぶ機会をもっております。ご家族に聞かれてすぐ話せるように資料を用意しております。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族様にご不明な点はないか確認して納得していただき契約をしている。また、利用中に起こりうるリスクに関してなど説明し、ご家族の理解、同意を得ている。		
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話やメールで状況報告を行い意向を確認し介護計画や施設の体制に取り入れております。利用者様の要望に応じられるようにご家族の方にも協力を得てサービスの向上に反映させております。		
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を行い、職員からの意見や提案を聞き、業務に反映している。また会議以外でも話しをして意見が言いやすい環境を作っている。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいようにアットホームな雰囲気笑顔で笑顔を絶やさぬ職場作りに努めています。介護福祉士等の資格、また日々の努力や実績に応じて正職員への起用に配慮している。		
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1人1人の状況に応じて研修への参加を促したり、資格取得の為にサポートをしている。勉強会を行い参加できなかった職員にも回覧している。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ予防対策として交流はできていません。		

グループホーム夢眠かに

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に会話の中でさり気なく要望を伺い、利用者様の要望をご家族様にお伝えし、ご理解、ご協力を頂き利用者様の気持ちを大切にしています。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期アセスメントを行いご家族様の意向を伺い利用者様と話し合い要望等を取り入れるように努めております。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当にグループホームでの支援が必要か資料と面談に伺い確認し、職員と話し合いながら対応しております。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬意を持ち利用者様の本意を大切にし残存能力に配慮した対応を心掛けております。		
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族が不安なく生活できるようスタッフが取りついで対応しております。		
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ予防対策として外出を控え、会話を楽しんでいただき積極的に取り組んでおります。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方の個性や性格をスタッフが理解し、座る位置や対応に配慮し皆で楽しんで共同生活が送れるように支援しています。		

グループホーム夢眠かに

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には看護、介護サマリー等お渡しし、ホームでの生活が継続できるように働きかけております。退所されてから様子を伺いに行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	(9) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いなど傾聴し把握し職員に共有しどのように対応していくか意見を出し合うようにしている。		
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	シートを使用しスタッフが把握できるように努めている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や申し送りなどで把握するように努めている。		
26	(10) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で出来ること、出来ていないことやそれぞれの利用者様の現状を知り話し合っている。		
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入しているが利用者様の様子が読み取れる程細かくはされていない。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のその時の体調や心の状態をみながら柔軟に対応できるように心がけている。		

グループホーム夢眠かに

	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所時に地域資源を確認しておりますが、なかなか多様な地域資源を活用させることが難しいです。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に希望のかかりつけ医を確認し緊急時は希望の病院に搬送して頂けるように看護に伝え情報共有しております。医療行為が必要な場合は看護と相談し対応させて頂いております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝バイタル測定の結果を看護に伝え、必要時は看護職に再測定して頂いております。日々の気づきを大切に、変化が見られた時は直ぐに看護に報告・相談して主治医に連絡する体制を築いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に看護・介護サマリーを医療機関に渡し情報共有し、入院中もご家族様に容態を伺ったり、早期退院できるように医療関係者・ご家族様と連携をとって支援しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院時にご家族様の意向を確認しております。状況に応じ、その都度ご家族様の意向を確認し看護職に情報共有しております。医療行為が必要な場合看護職と相談し対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルを作成しスタッフで情報共有しております。急変時の対応方法の研修を受けて習得しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内の非常口を全てスタッフが周知し、年に2回避難誘導を行っております。備蓄品を用意しローリングストック法を活用しています。		

グループホーム夢眠かに

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(14) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応しております。丁寧な言葉かけを心掛けています。		
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	尊重し自己決定できるように声掛けしております。		
38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務が優先しないよう、利用者の方の希望に添う様に支援しています。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に整髪、整容の声掛け見守り介助をしている。		
40	(15) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずを配食しているが時々手作りを取り入れている。盛り付け、食器拭きは一緒にやって頂けるよう心掛けています。		
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすくするために1人1人形態を考えた支援はできています。水分量の少ない方への支援を職員間で話し合いをし努力している。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後毎回声掛けをして頂いております。本人の力に応じたケアをしています。		

グループホーム夢眠かに

	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様、1人1人に合わせた支援を行っております。トイレにて排泄できるように声掛け誘導を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便リズムを把握し自然排便を促せるよう工夫しトイレ誘導を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員の都合上、曜日や時間帯の希望には対応できていない。入浴中は自分のペースでゆっくり入っていただけるよう介助している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調節やパジャマへの更衣など就寝環境を整えている。起床時間は個々に合わせて対応。日中の休憩もその時の状況によって対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み込まれるまでしっかり見守りしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活リズムに合わせて休んで頂いたり、体操、好きなことをやって頂いたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	密をさけ紅葉狩りに車でいきました。極力天気の良い日にはスタッフと共に散歩にしています。		

グループホーム夢眠かに

	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の方が理解してみえるから安心して下さい。お支払いは口座落としで心配ないとお話し納得して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ハガキに返事を書いてご家族に送っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れる為、廊下に利用者様の作品コーナーを設け、俳句、塗り絵、折り紙等、スタッフと取り組んでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の空間は、確保されておりいつでもやすらぎのあるスペースである。またご近所のような付き合いもできるほどよい距離感である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある小物や写真、机等触れながら安心して暮らしていただく。プライバシーは守られている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能の状態に見合った活動や自立を促し、安全に過ごせるよう環境の整備はできている。		